省エネ お助け隊

一般社団法人地域資源循環システム協会

支援対象地域：富山県・岐阜県

特徴と得意領域（対応可能な再エネ支援：太陽光 バイオマス 水力）

母体企業である(株)アール・エ北陸のネットワークと、ZEB実証事業やエネマネ事業で培った技術・経験を活用し、省エネ診断から運用改善・設備更新、補助金申請のアドバイスまで一貫した支援が可能。

設備更新に頼らない運用改善による省エネ支援にも強み。エネルギーの専門家だけでなく、経営の専門家も多数参加しており、経営の側面からの省エネ提案も可能。対応可能な専門分野が広く、あらゆる事業者の悩みや相談に対応できる。

➢ 過年度事業参加実績　平成26年度(補正事業)～令和4年度にかけ8箇年参加　延べ支援者数94者

過年度事業における支援事例

換気量の適正化を図ることで空調電力使用量を低減し、コストカットを実現

百貨店からエネルギーコスト低減の相談があった。調査の結果、建物の給排気バランスが悪く店舗内が負圧になっており、熱処理されていない外気が多量に侵入していることが判明。

そのことから店舗内に温度ムラが発生し、店舗内の空調機がフル稼働状態のため、電力使用量が増大していると予想された。

そこで換気量の適正化を図り、どの程度電力使用量の変化に影響があるかの調査を行った。1週間の計測で効果がみられたため、事業者はCO2センサーを設け、ダンパー制御での省エネルギー化を実施。

※電力使用削減量実測値より年間効果を算出

エネルギーコスト　509万円/年 削減

【改善前】
CO2濃度：555ppm
温度　：25.4℃
湿度　：61.7%

【改善後】
CO2濃度：693ppm
温度　：25.4℃
湿度　：61.1%

冷凍・冷蔵設備と照明設備更新により、省エネルギー化を実現

食品スーパーより、店舗の省エネルギー化についての相談があった。調査の結果から、冷凍・冷蔵設備および照明設備が古いものであるため、運用改善だけでは十分な省エネ効果が得られないことが判明。

そこで、これらを高効率な設備へ更新を行い、省エネルギー化を図った。併せて新しくEMSを導入し、照明と既設空調の制御を行うことで、更なる省エネ化を実現した。

また、この設備更新には、経済産業省の補助金「エネルギー使用合理化等事業者支援事業」を活用した。

エネルギーコスト 628万円/年　削減

設備更新前

設備更新後

事業者概要

- 電話番号　:076-471-8495
- 受付時間　:9:00～17:00(平日のみ)
- E-MAIL　:info@rrr.or.jp
- 担当者名　:村瀬、市井

2015年設立。富山県内の中小企業の省エネによるコスト削減、経営改善を目的に支援活動を行っている。エネルギー系の専門家と経営系の専門家が多数在籍しており、さまざまな実績と経験を有する。2015年より富山県省エネルギー支援対策事業において、富山県内の中小企業を対象とし、省エネを軸とした経営改善の活動を推進している。

➢ 事業活用可能ネットワーク

《自治体》
- ✓ 富山県 生活環境文化部 環境政策課
- ✓ 富山県 商工労働部 地域産業支援課
- ✓ 岐阜県 林政部 林政課

《商工関連団体》
- ✓ 富山商工会議所、(公財)富山県新世紀産業機構(よろず支援拠点)
- ✓ 富山市新産業支援センター

《金融機関/リース会社》
- ✓ (株)富山銀行、(株)富山第一銀行、(株)北陸銀行、高岡信用金庫、富山信用金庫、新湊信用金庫、(株)十六銀行、(株)大垣共立銀行、東濃信用金庫

➢ 省エネ関連事業

《省エネ関連事業》
- ✓ 経産省 ZEBプランナー、エネマネ事業者登録
- ✓ 環境省 CO2削減ポテンシャル診断事業
- ✓ グリーンボンド活用による地方創生モデル事業の推進

《経営関連事業》
- ✓ 各種研修セミナー等の講師派遣(国、県、商工会等が開催するもの)
- ✓ 各種補助金申請支援

支援事例・セミナー情報等の詳細については、WEBサイト「省エネお助け隊ポータル」に掲載されています。

詳しくは、省エネお助け隊ポータル　または https://www.shoene-portal.jp/